本物の旅。かごしま

― 明治維新150周年・世界遺産登録・大型キャンペーン ―

鹿児島県は、11年3月の九州新幹線全線開業と山陽・九州新幹線相互直通運転の効果が続いている。今回の特集では、14年度の鹿児島県の取り組みや注目の大型観光情報を紹介する。

明治維新150周年に向けて

鹿児島県の観光施策の中で、重要な柱のひとつが2018年の明治維新150周年。2018年までにも様々な歴史的な出来事が150周年を毎年迎えることになる。昨年は薩英戦争から150周年の年。薩摩藩は、薩英戦争の教訓として西欧の優れた文化を取り入れることが重要と考えて、当時の国禁を破って英国に留学生を派遣した。その留学生の功績を紹介する「薩摩藩英国留学生記念館」が、いちき串木野市にある羽島浦黎明公園内に7月に開館する。

JRとのキャンペーン継続

大型観光トップピクスが続々

JRとの連携

鹿児島県は、九州新幹線全線開業と山陽・九州新幹線相互直通運転開始以降、JRと連携したキャンペーンを展開し成果を挙げている。

今年も2012年にJR西日本と共同で始めた「霧島アートな旅」キャンペーン（3月20日～6月30日）、4月からは、2年目となる団塊の世代と女性をターゲットにしたリメンバー九州キャンペーンが実施される予定。

JR九州とは、「鹿児島 沸いてます！～『ゆ活』プロジェクト、はじまる。～」をプロモーション展開。14年度も大型観光キャンペーンを展開する予定。また昨年注目を集めた豪華寝台列車「ななつ星in九州」は、仙巌園での食事や霧島の名旅館への宿泊がコースに組み込まれており、九州外から多くの観光客がこの列車に乗って鹿児島を訪れている。また、「ななつ星in九州」は、鹿児島中央駅や隼人駅に停車することが徐々に知られており、「ななつ星in九州」を一目見ようという観光客も訪れている。

タイミングが合えば、仙巌園から、桜島を背景に走る「ななつ星in九州」を見ることができる。

引き続き周遊観光の拡大

鹿児島県観光連盟は、九州新幹線全線開業と山陽・九州新幹線相互直通運転で増加した観光客、とくに指宿、霧島地区に集中している新幹線効果を全県に広げる取り組みを継続している。鹿児島市内や指宿、霧島地域を宿泊拠点地域として、周辺地域を周遊させることで、拠点地域には、連泊やリピーター客の獲得を、周辺地域には、観光客の来訪により、地域活性化を図る。

観光地としては、大隅半島が注目で、ベストセラー小説で映画化もされた「永遠の0」ゆかりの鹿屋市や整備が進む本土最南端の佐多岬など期待の観光スポットが多い。

また源泉数全国2位の鹿児島県の温泉の魅力を再評価し、県民おすすめの温泉を県外にアピールする事業として、「私の一押し温泉」を県内で募集。結果をもとに県民おすすめの温泉をテーマごとに選定し、温泉巡りスタンプラリーなどを実施する予定。14年度は、県民おすすめの桜島の眺望スポットを募集する予定。

仙巌園からの桜島

霧島アートな旅キャンペーン

鹿児島県内の行政や観光関係者でつくる観光かごしま大キャンペーン推進協議会は3月20日から、JR西日本などと連携し、昨年に引き続いて「霧島アートな旅キャンペーン」を6月30日まで開催する。今回で3回目。現代アートの美術館「霧島アートの森」や本格的な音楽ホール「霧島国際音楽ホール」（みやまコンセール）など芸術的要素を持つ観光資源などを活用したキャンペーン。

今年は霧島の国立公園指定80周年キャンペーン（3月16日～15年3月15日）も同時に開催される。

キャンペーンでは、「霧島アートの森」の現代アート、「みやまコンセール」の音楽に加え、霧島温泉郷などに展示された芸術作品を鑑賞しながらの散策や、体験プログラム、霧島の食など、霧島エリアに誘客を図る。キャンペーン期間中には、さまざまな特別イベントが開催される。

野外美術館の「霧島アートの森」では、キャンペーン期間中に、園内ツアーを毎週日曜日に実施。野外アートを学芸員の案内でまわる。毎月第1と第3土曜日には、「アート体感ツアー」を開催。霧島アートの森の屋内作品を学芸員が案内。作品鑑賞後、ミニ灯ろう作りを行う。第2土曜日には、「発見楽しみ工房」を開催。現代アート風の作品を制作し、アート作品制作の楽しさを体感できる。

また、「霧島アートな旅スペシャルイベント」として、3月23日から4月16日には、知的障碍者支援施設「しょうぶ園」による作品展示が行われる。

みやまコンセールでは、団体予約を対象にミニコンサートが、休館日（月曜日）以外の平日に実施。みやまコンセールの協力演奏家による鍵盤楽器や管、弦、打楽器の演奏、歌などを気軽に楽しめるレクチャーコンサートとなっている。

キャンペーン期間中の土日曜日にはコンサートの開催が予定されており、今回は注目のコンサートが開かれる。「第82回日本音楽コンクール受賞記念演奏会」（4月12日）、「ウイーン少年合唱団」（5月3日）、「ベルリン・フィルハーモニーホルン・カルテット」（5月25日）、「渡辺香津美ギター・ルネッサンス」（6月22日予定）。また、「霧島アートな旅スペシャルイベント『しょうぶ園』による野外コンサート」（6月1日）も開催される。

霧島の伝統芸能である「霧島神楽」や「霧島九面太鼓」の演舞、演奏が無料で観覧できる「きりしま郷土芸能のタベ」が月1回程度開催される。

他にも、キャンペーン期間中、霧島温泉郷のホテルと観光施設などに芸術作品を展示。湧水町は、町内の公共施設や道路の空き地などに芸術作品が展示されている。

霧島アートの森

ななつ星in九州（隼人駅）

霧島の杜　フットケア

霧島の黒豚と春野菜のランチ

霧島ホテル

女性向け体験プログラム

ガーデンリゾートスパ「霧島の杜」は、高級旅館や「ななつ星in九州」の乗客にも施術を行うエスティシャンのサロン。エステやスパ、ウッドデッキでの足湯とティータイムなどが満喫できる。キャンペーン期間中は、「青空の中でのフットケア」を提供。オリジナルの100%オーガニックバームを使用したフットケアを霧島の大パノラマの自然の中で受けられる。20分のフットケアとドリンク、デザート付で2980円（税別）。2人から6人までの小グループで、前日までの予約が必要。

霧島グルメランチ登場

地元で人気の「焼肉厨房わきもと」では、キャンペーンにあわせて、霧島の黒豚と春野菜を満喫できるランチを設定。霧島の春野菜たっぷりのサラダバーに、厚めの黒豚のロースとカルビを黒酢で食べる。特別ランチの料金は1480円。

2次アクセス整備

2次アクセスでは、霧島神宮駅と霧島アートの森を往復する便利な「霧島アートバス」が特別に運行。運行日は、キャンペーン期間中の土日祝と4月30日、5月1日、2日。運行区間は、霧島神宮駅～高千穂牧場～霧島神宮～霧島神話の里公園～霧島温泉市場～霧島国際音楽ホール（みやまコンセール）～関平鉱泉販売所～霧島アートの森。

料金は2日乗降自由券700円、1日乗降自由券500円。1回乗車券は300円。

いわさきバスでは、霧島の観光地を巡る路線バス1日乗り放題の霧島「のったりおりたりマイプラン」を発売。料金は大人1000円、こども500円。

スタンプラリーを実施

霧島アートな旅キャンペーンスタンプラリーがキャンペーン期間中に開催される。キャンペーンパンフレットに記載されたチェックポイント8カ所の中から3カ所のスタンプを集めて、各チェックポイントにある回収箱に投函するか、郵送すると抽選で鹿児島県産黒豚か黒牛のギフトが抽選で30人に当たる。

霧島の国立公園指定80周年キャンペーンでは、「きりしま ゆ旅」のスタンプラリーを実施している。「きりしま ゆ旅」へは、「ゆ旅帳」を霧島温泉市場や霧島市観光案内所などで購入（対象の温泉施設でも一部販売）することで参加できる。

対象施設に付き1つのスタンプを集め、集めた数で、序の口～横綱までの番付と景品がもらえる。番付の認定のために最後には霧島温泉市場のゆけむりの里「足湯」に入浴しなければならない。ゆ旅帳の有効期限は発効から1年間となっている。

高速船甑島運航

川内港（鹿児島県薩摩川内市）と甑島（同）を結ぶ「高速船甑島」が4月2日に就航する。デザインは、九州新幹線の車両デザインなどで知られる水戸岡鋭治氏。

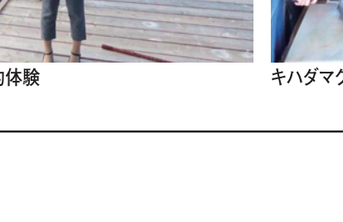
同船は全長45・7メートル、1977トン。速力は26・7ノット。里港には約40分、長浜港には約1時間30分で到着する。定員200人。

「高速船甑島」の運航は1日2往復。運賃は片道通常3380円。

川内駅～川内港には、大型電気路線バスを使用した川内港シャトルバス（100円）が「高速船甑島」ダイヤに合わせて所要時間約25分で運転される。

フェリーは、従来通り、串木野新港（いちき串木野市）～甑島各港で運航される。

断崖・奇岩クルーズや島歩きが楽しめ、人気漫画でドラマ化もされた「Dr.コトー診療所」のモデルとなった甑島への観光が便利になる。


高速船甑島

「明治日本の産業革命遺産　九州・山口と関連地域」（鹿児島県編）

明治日本の産業革命遺産の世界文化遺産登録

「明治日本の産業革命遺産　九州・山口と関連地域」の推薦書正式版が1月にユネスコ世界遺産センターに提出された。順調にいけば、2015年夏頃の世界遺産委員会で、世界遺産登録の可否が審議される予定。19世紀後半から20世紀初頭にかけての日本の急速な産業化を証言する産業遺産群であるので、明治維新150周年関連の史跡やゆかりの地とともに、ユネスコ世界遺産センターに提出された。順調にいけば、2015年夏頃の世界遺産委員会で、世界遺産登録の可否が審議される予定。19世紀後半から20世紀初頭にかけての日本の急速な産業化を証言する産業遺産群であるので、明治維新150周年関連の史跡やゆかりの地と

旧集成館反射炉跡

「明治日本の産業革命遺産　九州・山口と関連地域」は、日本国内の8県11市にまたがる重工業（造船、製鉄・鉄鋼、石炭産業）に関する産業遺産で構成されている。鹿児島県内の構成資産には、旧集成館（鹿児島市）、寺山炭窯跡（同）、関吉の疎水溝（同）がある。旧集成館は、1851年に、薩摩藩主・島津斉彬が築いた日本最初の洋式工場群。反射炉や高炉などを備えていた。西洋技術の情報を得て、日本の伝統的な施工技術と適合させ、独力で建設されたことが高く評価されている。現在は、大名庭園である仙巌園内に残る反射炉跡、尚古集成館（本館）として使用されている旧集成館機械工場、通称「異人館」として開放されている旧鹿児島紡績所技師館が構成資産となっている。

旧集成館反射炉跡

反射炉跡等

薩摩藩主・島津斉彬により、1857年に独力で建設された反射炉。基礎部分及び炉の下部構造等の遺構が仙巌園内に残存している。燃料や動力を供給した寺山炭窯跡及び関吉の疎水溝も構成資産に含まれる。

旧集成館機械工場（尚古集成館（本館））

旧集成館機械工場

船舶に装備する洋式の諸機械製造の技術は、幕府が設置した洋式機械工場である長崎製鉄所から、その情報と技術を引き継いだ第二期集成館事業の機械工場へと継承された。現在は建物が尚古集成館（本館）となっている。

旧鹿児島紡績所技師館（通称「異人館」）

旧鹿児島紡績所技師館

日本最初の洋式紡績工場である鹿児島紡績所で技術指導に当たった7人の英国人技師の宿舎として、1867年に建てられた。初期の洋風建築を代表するものとして歴史的にも貴重。現在は通称「異人館」として、旧鹿児島紡績所技師館関連資料の展示や当時の英国人技師の生活の様子を再現している。

薩摩藩英国留学生記念館

「薩摩藩英国留学生記念館」が鹿児島県いちき串木野市にある羽島浦黎明公園内に7月20日に開館する。

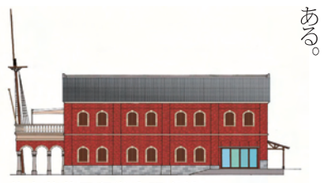
約150年前の1865年、薩摩藩が選抜した留学生19人が、英国へ旅立ち、帰国後に日本の近代化や国際化に貢献した。同記念館では、彼ら留学生の旅路や活躍、生きざまを物語る貴重な資料を公開する。

建物は、幕末～明治期の鹿児島城下に造られた西洋式構造と薩摩の在来素材・技術を組み合わせた「薩洋折衷建物（薩摩式洋館）」を再現。

記念館の1階は、国際交流をテーマにオリエンテーションや閲覧も可能な西洋書斎風のライブラリー。地元羽島と英国をテーマにしたカフェとショップも設置。受付では館内だけでなく羽島の見どころも案内する。

2階は常設展示室で、旅路で留学生が見た光景を紹介。英国到着後の経験や当時の英国の状況を解説する。

留学生が出発した場所を見下ろすデッキも設置した。他にも企画展示室や、環境を整えた特別収蔵庫もある。


薩摩藩英国留学生記念館

奄美ブルーツーリズム

マグロを使った体験メニュー整備

奄美大島では、ブルーツーリズムとして、奄美大島の新しい体験メニューをPRしている。

最も期待されているのが「マグロ」。

奄美大島は、養殖マグロの生産が日本一で、島全体で6社がクロマグロの養殖を行っている。大阪や東京で知名度が高まり、いち早く養殖マグロのブランド化に成功した近畿大学の養殖場も奄美大島にある。また天然のキハダマグロは、島内で荒節として加工され、削節として製造販売されている。

養殖クロマグロの体験メニューは、同島内の瀬戸内町内にあるクロマグロ養殖場内で給餌体験とクロマグロ料理（昼食または夕食）がセットになったもの。予算次第で、50キログラム以上の養殖マグロの解体ショーと組み合わせも可能。

高級食材のクロマグロの解体ショーは、ブランド力があり、アトラクションとしても盛り上がる。その後の食事でも満足度が高い。養殖場の見学と給餌体験も貴重な体験メニューとなっている。

天然のキハダマグロは、解体ショー、竿釣体験、調理体験、荒節工場見学、削り節体験などメニューの種類が豊富。キハダの解体ショーは、養殖クロマグロに比べて安価なことがメリット。竿釣体験は、天候不良時のためにストックされている海上の生簀で行われ、簡単にキハダマグロを釣り上げることができる。

奄美大島は、「奄美・琉球」として、世界自然遺産登録の期待も高まっている。

養殖クロマグロの解体ショー

クロマグロ養殖場見学と給餌体験

キハダマグロ竿釣体験

キハダマグロ調理体験

「『本物。鹿児島県』の情報発信と交流人口の更なる拡大に向けて」

伊藤 祐一郎
鹿児島県知事

鹿児島県は、南北600kmの広大な県土に豊かな自然、個性ある歴史・文化、良質の温泉、黒牛・黒豚などの多様な食材といった「本物」の素材に恵まれていることから、まさに「本物」の旅を満喫いただけるものと思っております。

来年は「第30回国民文化祭・かごしま2015」の開催が予定され、また、「明治日本の産業革命遺産　九州・山口と関連地域」の世界文化遺産登録目標年でもあります。その後も、薩摩英国留学生派遣、薩長同盟といった明治維新につながる歴史的事象が続々と150周年を迎え、さらに、4年後の平成30年には明治維新150周年という節目の年を迎えます。

これらを契機に、環黄海地域をつなぐ高速交通ネットワークと本県の地理的優位性を最大限に活かして、国内はもちろんアジアの国々において、歴史的事象をテーマとしたシンポジウムの開催を予定しております。

今後とも、様々な機会を捉えて、国の内外を問わず「おもてなしの心」と「本物。鹿児島県」の多彩な魅力を積極的に情報発信し、交流人口の増大を図ってまいります。

問い合わせ先
観光かごしま大キャンペーン推進協議会
鹿児島県観光課
鹿児島市鴨池新町10-1　TEL/099-286-5050　http://www.kagoshima-kankou.com/
（公社）鹿児島県観光連盟
鹿児島市名山町9-1　TEL 099-223-5771　http://www.kagoshima-kankou.com/